



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	世界のルールの作り方・使い方 第1回：食の安全と国際経済 - 成長ホルモン・遺伝子組み換え食品の輸出入をめぐる攻防
Relation	世界のルールの作り方・使い方 第1回：食の安全と国際経済 - 成長ホルモン・遺伝子組み換え食品の輸出入をめぐる攻防. 2015年7月3日(金). 北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター、北海道大学附属図書館, 札幌市
Issue Date	2015-07-03
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/59545
Type	lecture
File Information	01.pdf, 第一部基礎編スライド：国際法ガバナンスの基礎



世界のルールของ作り方・使い方 第1回(2015.7.3):第1セッション:基礎編

世界のルールของ作り方・使い方 —国際法ガバナンスの基礎

大学院法学研究科
児矢野マリ

世界のルールー国際法ーとは何か？

- 国際社会の法 ⇒ 国際社会の「法の支配」の基礎
- 国際法は法規範 ⇒ 違反すれば法律違反・制裁へ
- 存在形式は、条約と慣習法
- 目的は、主権国家の共存と相互協力の実現・促進
- 主権国家間の関係を規律
 - ⇒ 国家間関係の規律を通じて、私人の活動（経済活動等）を規制
- 国際社会の基本構造（中央集権的権力機構の欠如。相互対等な主権国家から成る分権的構造！）
 - ⇒ 国際法における諸々の特徴と限界 cf. 国内法

国際法の目的—主に2つ

- 国家の**共存**を支える
 - ＝国家間の利害対立や競合利益を調整し、国際紛争の発生や悪化を防ぐ
- 国家間の**協力**を推進する
 - ＝国家間の相互協力を推進し、国家が共通に直面する課題（経済発展、人権保障、環境保全、平和・軍縮等）の解決を促す

国際法の大前提

- 主権国家は平等（形式的/実質的平等）
- 「合意は拘束する」(*pacta sunt servanda*)
＝国際法の基礎は国家間の合意！
- 国際社会には多様な国家が存在（⇒価値多元主義）
- 国際社会には、一定の普遍的な価値（経済発展、人権保障、環境保全、平和・軍縮）があり、国家はそのような価値の実現に共通の利益を見出している（とくに20世紀半ば～）

cf. その具体的内容、実現方法、道筋、優劣関係・・・？

国際法の存在形式—条約と慣習法

- 条約：**締約国のみを拘束**。無限の数あり。
 - 多数国間条約
 - 普遍条約 e.g. 国連憲章、**WTO設立協定**、女性差別撤廃条約、国連海洋法条約、京都議定書、核不拡散条約(NPT)
 - 地域条約 e.g. **EU運営条約**、**北米自由貿易協定**
 - 二国間条約 e.g. 日米安全保障条約、**日豪経済連携協定**
- 慣習法：**全ての国を拘束**
 - e.g. 公海自由の原則、武力の行使・武力による威嚇の禁止、内政不干渉原則、拷問の禁止、集団殺害(ジェノサイド)の禁止
 - 多くの重要な原則あり。
 - 条約に明文化(法典化)されたものも多い。
 - 成立2要件(認定問題あり)：**法的信念＋一般的慣行**

国家による国際法の遵守

- 国家は、国際法（条約と慣習法）を**遵守**しなくてはならない。
- 国際法の遵守とは、**国際法（条約と慣習法）の定める作為・不作為を実践すること。**
 - e.g. 例外的に許容される場合を除いて、他国を武力攻撃しない。
- 国際法上の義務が国内社会に関わる内容を含む場合には、国家は**自国の関連国内法令を整備（制定・改廃）し、それを国内で執行**しなくてはならない。そうしないと、国際法違反になる。
 - e.g. 女性差別撤廃条約を遵守するための日本の国籍法の改正（1985年）：父系血統主義から両性血統主義への転換。
- 国際法は、**各国の国内法制を「平準化」し、国内社会を変えていく。**

国際法の履行強制における限界

- 国際社会は**分権的** ←中央集権的権力機構の欠如
⇔中央集権的な国内社会
- 行政：強制権限をもつ中央集権的な**行政機関**はない
⇔国内社会における行政府（警察機構等）
- 司法：**国際裁判所（国際司法裁判所等）**は原則として強制管轄権をもたない（裁判開始には当事国間の合意が不可欠）
⇔国内裁判所
But, **WTOは例外的**！（加盟国の一方的提訴による紛争解決）
- 一般に・・・**国際法の履行強制における制度上の限界**

しかし、国家は一般によく国際法を守る！

• なぜ、国家は国際法を守るのか？

- 国家は、そもそも遵守が利益と考えたから条約に入いった。
- 違反すると相手国も同様の違反をして自国利益が害されかねない（相互主義）。
- 違反国のレッテルはプライドが許さない。
- 違反すると思わぬところで他国から仕返しを受ける。
- 遵守するよう国内外で圧力がかかる。

• 一定の多数国間条約で「対話と説得」の手法による 遵守確保メカニズムを導入する傾向もある。

e.g. 人権条約、環境条約の国家報告・審査手続、不遵守手続

しかし、国際紛争は起きる！－ 国際法の解釈・適用めぐる国家間の争い

- 国際法（条約と慣習法）はあっても、その**解釈・適用をめぐる国家間で見解が対立**することはある。
- そうした対立が激化して**国際紛争**になることもある。
- こうして、国際紛争が発生してしまったら－
⇒ 外交交渉？ 調停？ 仲裁？ 国際裁判・・・？
- **国際貿易のルール**のあり方は？ また、その解釈・適用について国際紛争が発生してしまったら？－
⇒ 「世界のルールの作り方・使い方」**第2セッション [応用編：食の安全と国際経済]**へ

Thank you very much!
koyano@juris.hokudai.ac.jp

